2026年度 第2四半期(中間期)
決算説明会資料

2026年11月18日

株式会社 きんでん

東証プライム：1944

Kinden

目次

1. 決算概要と通期の見通し

（1） 決算概要 … 2

（2） 通期の見通し … 5

2. 業績の状況

（1）予想との比較 【個別】… 7

（2）前年同期比較 【個別】… 8

（3）工事種別の状況(受注) 【個別】… 9

（4）工事種別の状況(完成) 【個別】… 10

（5）完成工事高　受注時期別
（配電工事を除く） 【個別】… 11

（6）工事種別手持工事高の状況 【個別】… 12

（7）販売費及び一般管理費の状況 【個別】… 13

（8）予想との比較 【連結】… 14

（9）前年同期比較 【連結】… 15

（10）完成工事高の増減 【連結】… 16

（11）海外(地域別） 受注・完成工事高の状況
【きんでん＋海外子会社】 … 17

（12）営業利益の増減要因 【連結】… 18

（13）貸借対照表の状況 【連結】… 19

（14）キャッシュ・フローの状況 【連結】… 20

3. 業績予想

（1）通期予想 【個別】… 22

（2）通期予想 【連結】… 23

4. 株主還元

（1） 配当について … 25

（2） 自己株式の公開買付けによる
取得及び消却について … 26

5. ROE

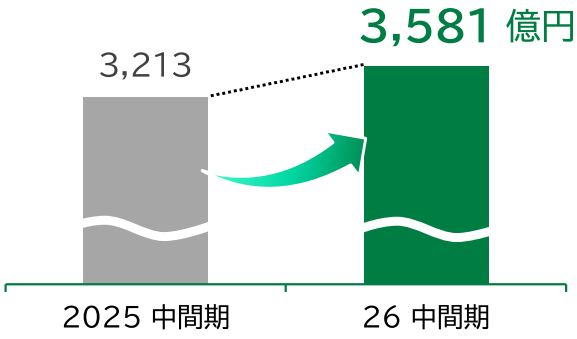
ROEについて … 28

1. 決算概要と通期の見通し

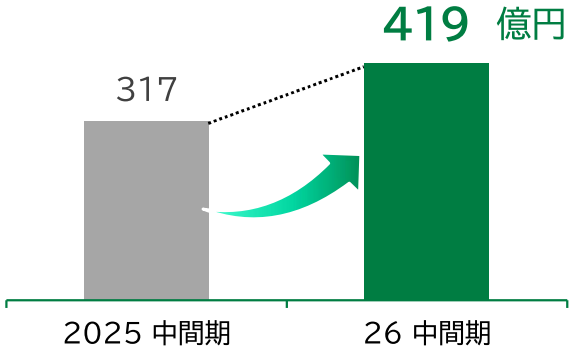
(1)決算概要 ①

連結

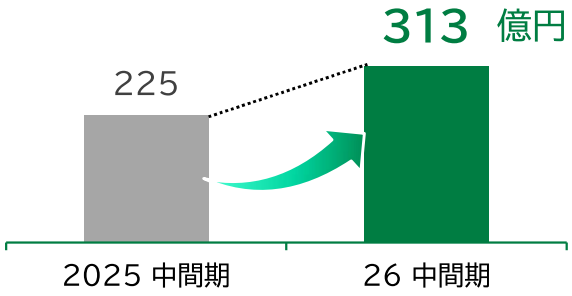
完成工事高



営業利益

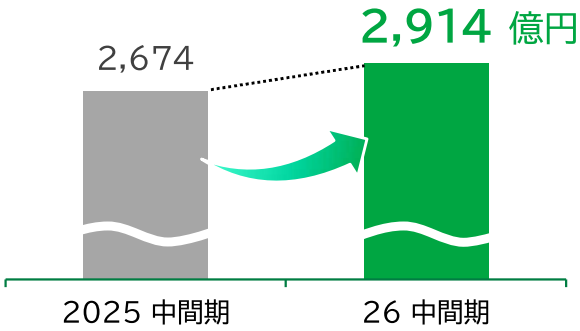


親会社株主に帰属する中間純利益

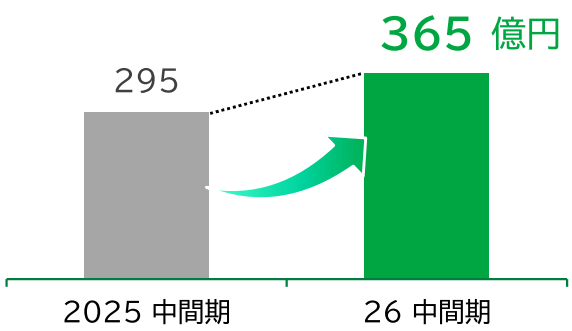


個別

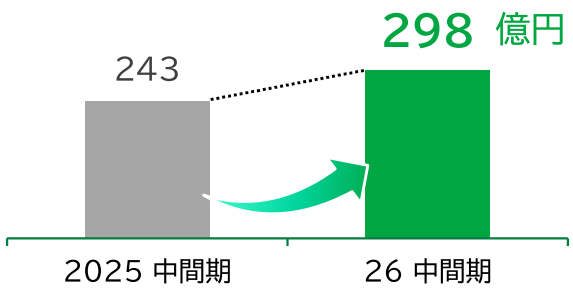
完成工事高



営業利益



中間純利益

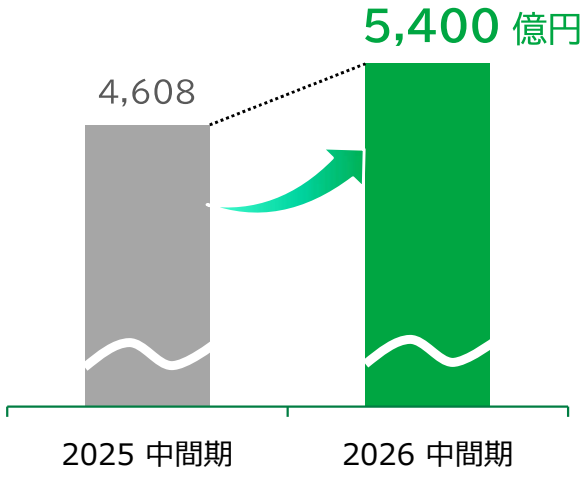


- 連結・個別共に、完成工事高および全ての利益において、前期比で増収・増益となった
- 中間期として創業以来の最高値を更新した

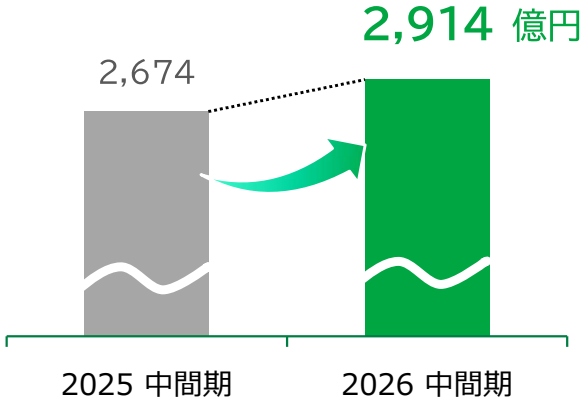
(1)決算概要 ②

個別 （対前年同期）

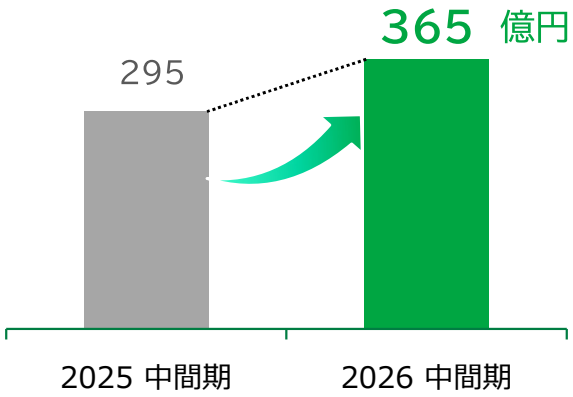
受注工事高



完成工事高



営業利益



【受注工事高】
- 引き続き旺盛な建設需要に支えられ、前期実績を上回った

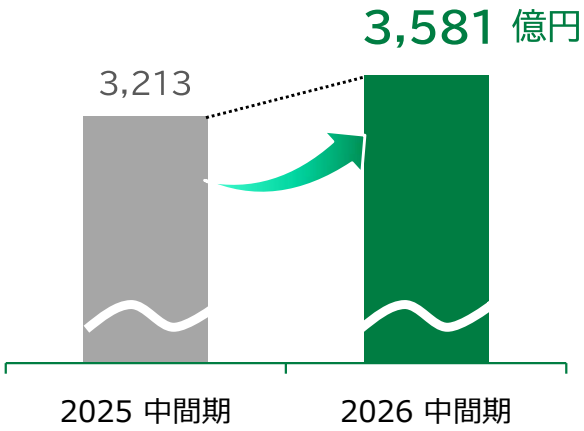
【完成工事高】
- 豊富な期首手持工事が順調に進捗、当期の受注も堅調に推移し、増収となった

【営 業 利 益】
- 完成工事高の増加に加え、建設コストや適正工期の確保について、お客さまの理解が進む市場環境のなか、VE・CDをはじめとする原価低減努力や、施工の効率化による生産性の向上により、増益となった

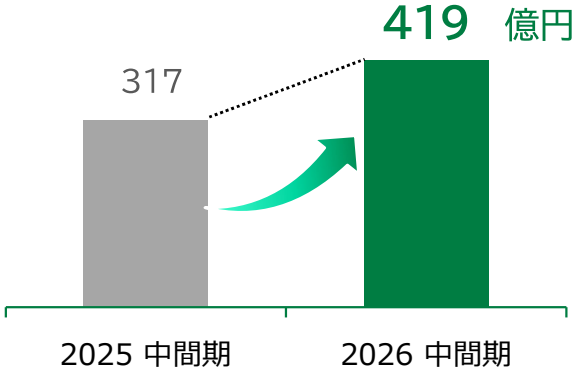
(1)決算概要 ③

連結 （対前年同期）

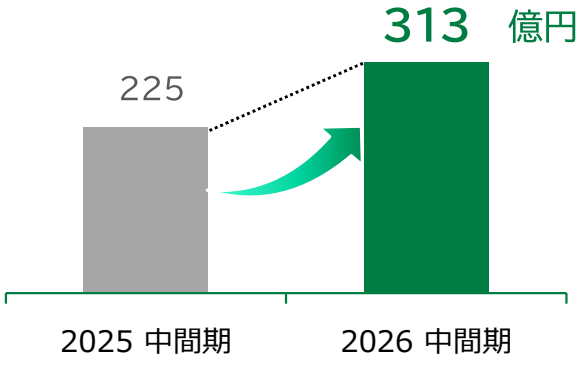
完成工事高



営業利益



親会社株主に帰属する 中間純利益

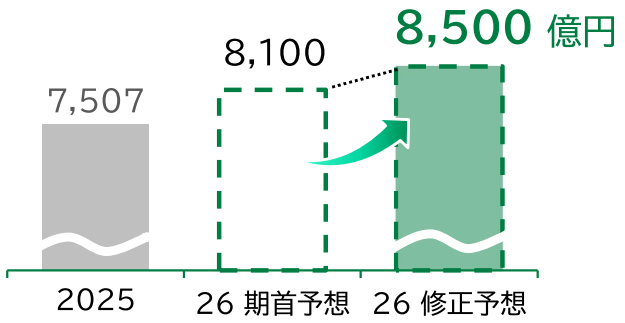


- 子会社全体として順調に推移し、連結業績は前期比で増収・増益となった

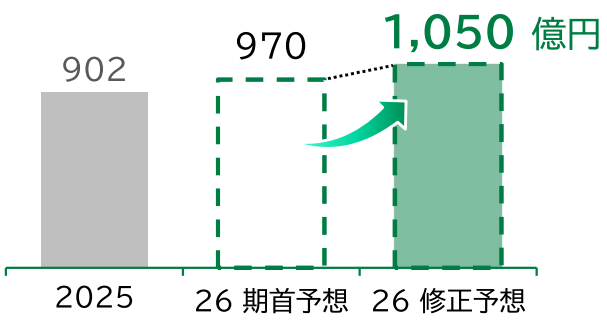
(2)通期の見通し

通期予想（連結）

完成工事高

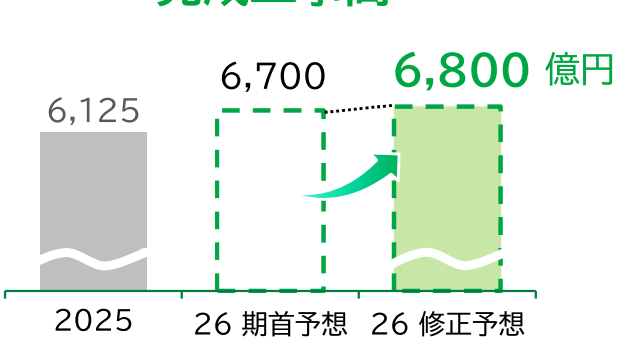


営業利益

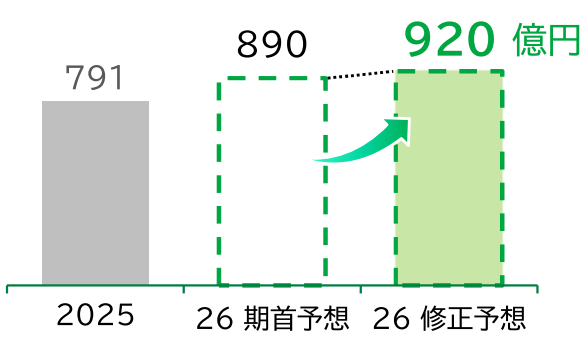


通期予想（個別）

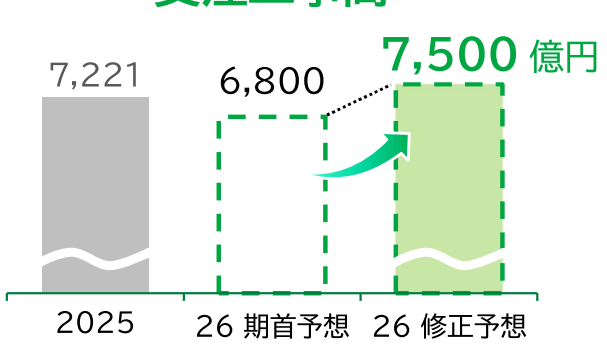
完成工事高



営業利益



受注工事高



- 上期業績が期首予想を上回ったこと、株式会社弘電社を新たにグループに迎え入れ、下期業績を連結に反映することから、通期の業績予想を上方修正
- 旺盛な建設需要を背景に堅調な受注が続くなか、上期実績や今後の受注見通しを踏まえ、個別の受注予想を上方修正

2. 業績の状況

（1）予想との比較【個別】

完成工事高、各利益共に予想を上回り、中間期として創業以来の最高値を更新

◆ **完成工事高**

・電力関連は、レベニューキャップのもと堅調に推移

・一般関連も、堅調な受注、また手持工事の進捗も順調に推移し、予想を上回った

◆ **各利益**

完成工事高の増加に加え、建設コストや適正工期の確保について、お客様の理解がすすむ市場環境のなか、VE・CDをはじめとする原価低減努力や施工の効率化による生産性の向上により、各利益が予想を上回った

（単位:百万円）

	2Q予想	2Q実績	差額	率
完成工事高	285,000	**291,490**	6,490	2.3%
営業利益	35,000	**36,580**	1,580	4.5%
営業利益率	12.3%	**12.5%**	0.2	－
経常利益	37,000	**39,091**	2,091	5.7%
中間純利益	28,000	**29,801**	1,801	6.4%
1株当たり中間純利益	156.56 円	**166.64 円**	10.08 円	

（2）前年同期比較【個別】

◆ **完成工事高**

・電力関連は、レベニューキャップのもと堅調に推移

・一般関連も豊富な期首手持工事高が順調に進捗し、当期の受注も堅調に推移したことなどにより増加

◆ **各利益**

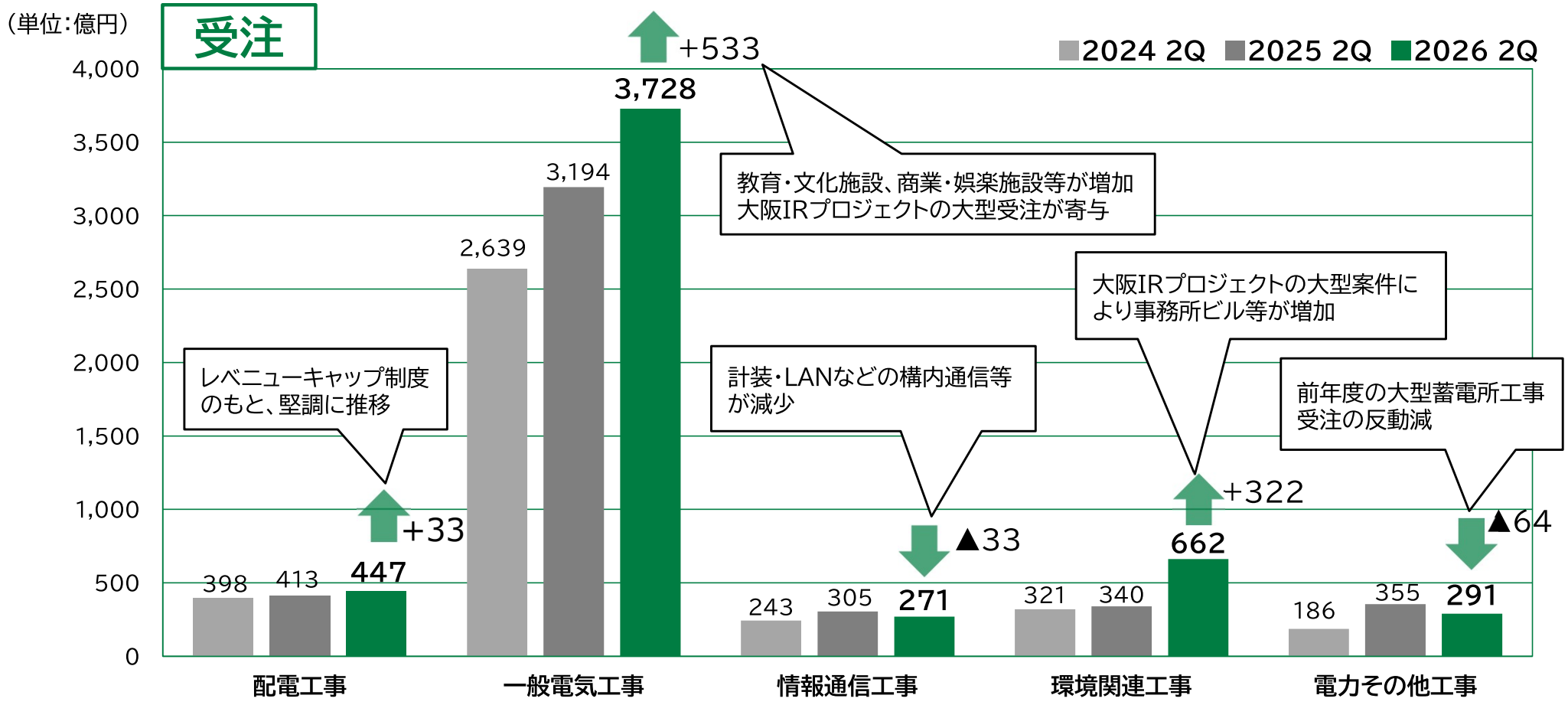
完成工事高の増加に加え、建設コストや適正工期の確保について、お客様の理解がすすむ市場環境のなか、VE・CDをはじめとする原価低減努力や施工の効率化による生産性の向上により、各利益が前年同期を上回った

（単位:百万円）

	2025_2Q	2026_2Q	増減	増減率
受注工事高	460,889	**540,065**	79,176	17.2%
完成工事高	267,440	**291,490**	24,050	9.0%
完成工事総利益	61,243	**72,991**	11,748	19.2%
完成工事総利益率	22.9%	**25.0%**	2.1	–
販売費及び一般管理費	31,693	**36,410**	4,717	14.9%
営業利益	29,550	**36,580**	7,030	23.8%
営業利益率	11.0%	**12.5%**	1.5	–
経常利益	33,470	**39,091**	5,621	16.8%
中間純利益	24,326	**29,801**	5,475	22.5%
1株当たり中間純利益	122.75 円	**166.64 円**	43.89 円	

（3）工事種別の状況（受注）【個別】

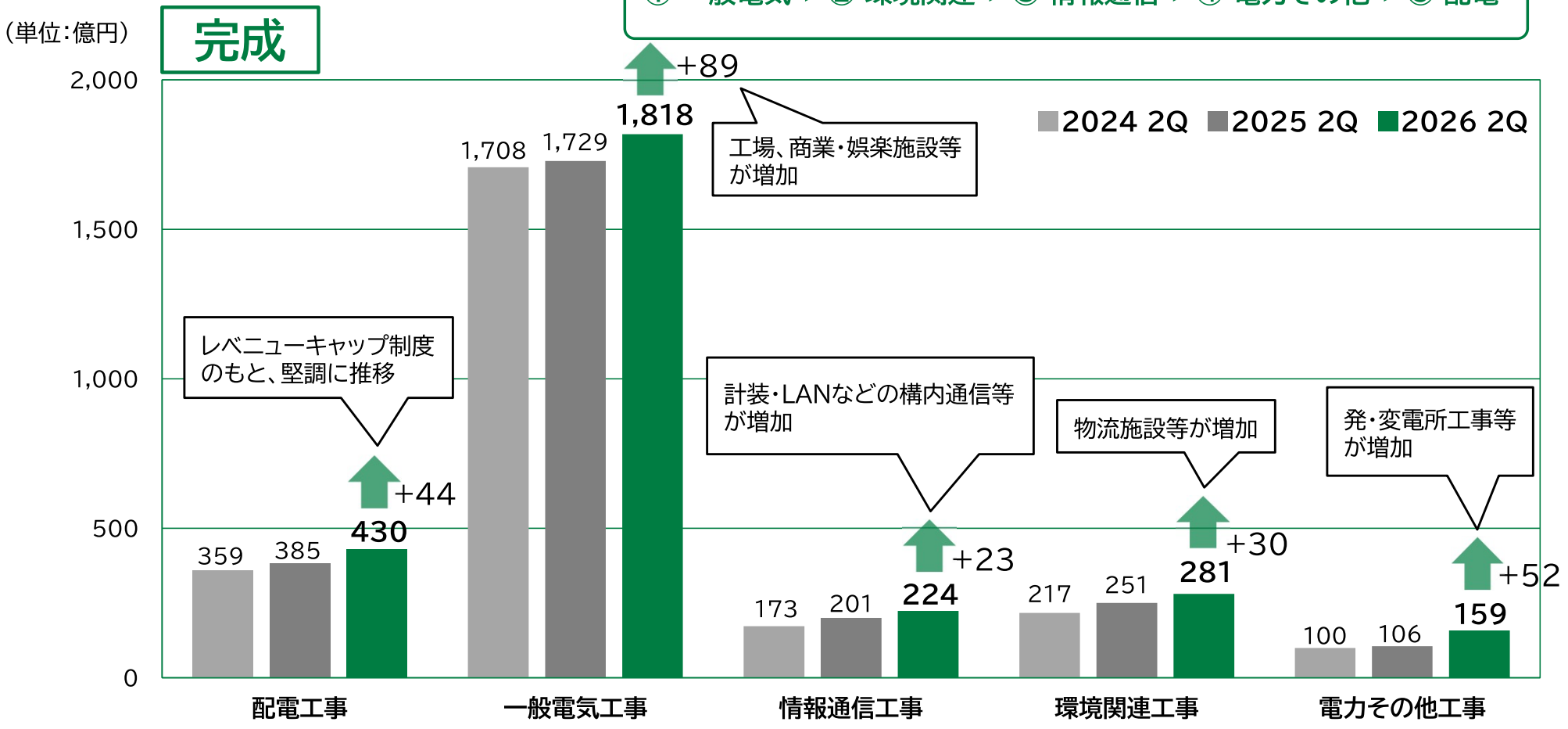
- ◆ 配電工事、一般電気工事、環境関連工事は増加
- ◆ 情報通信工事、電力その他工事は減少
- ◆ 受注工事高全体は、旺盛な建設需要に支えられ、中間期として創業以来の最高値を更新



（4）工事種別の状況（完成）【個別】

◆ 全ての工事種別において増加

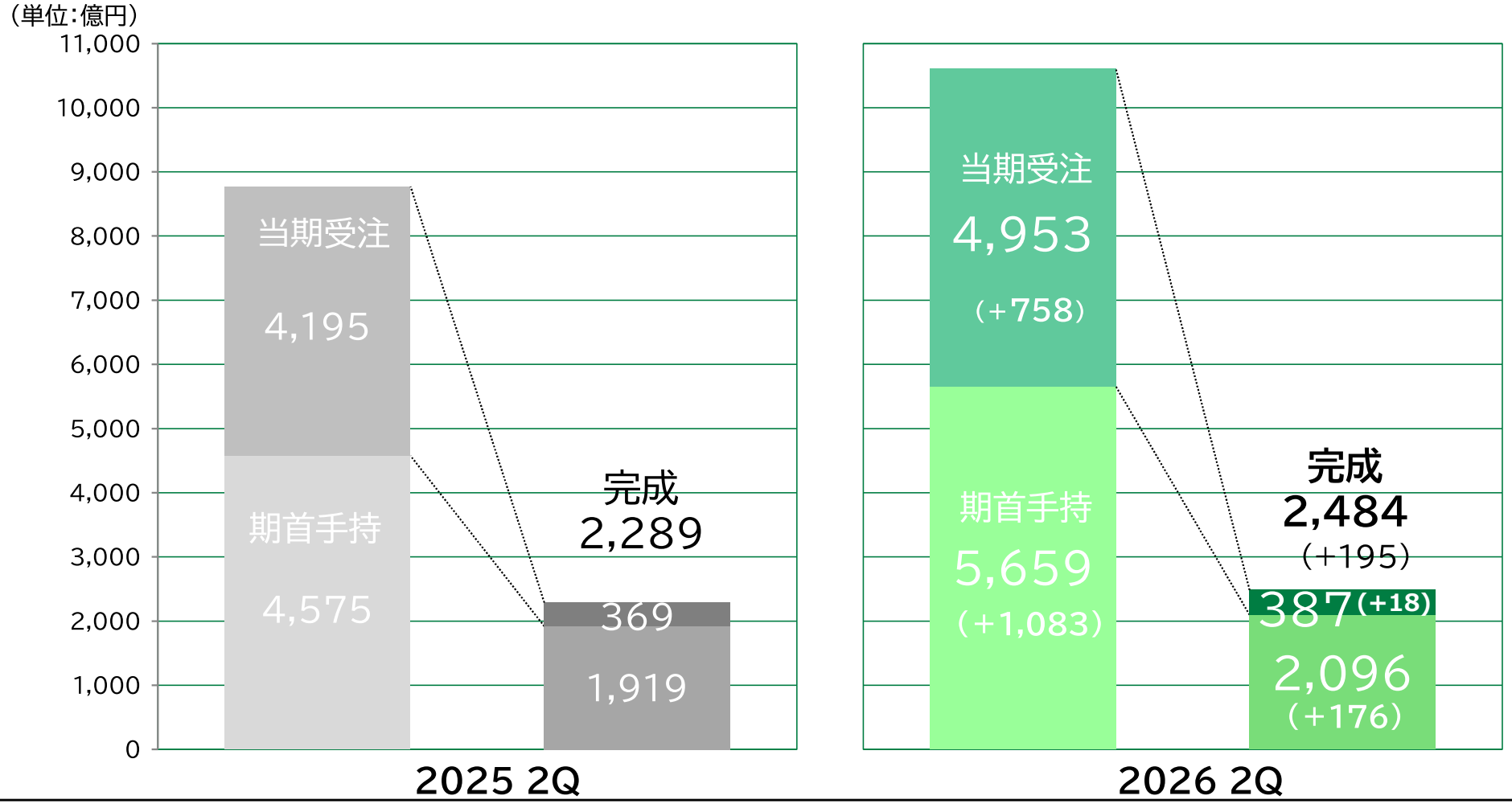
◆ 完成工事総利益率の順位（工事種別）
① 一般電気 ＞② 環境関連 ＞③ 情報通信 ＞④ 電力その他 ＞⑤ 配電



（5）完成工事高　受注時期別（配電工事を除く）【個別】

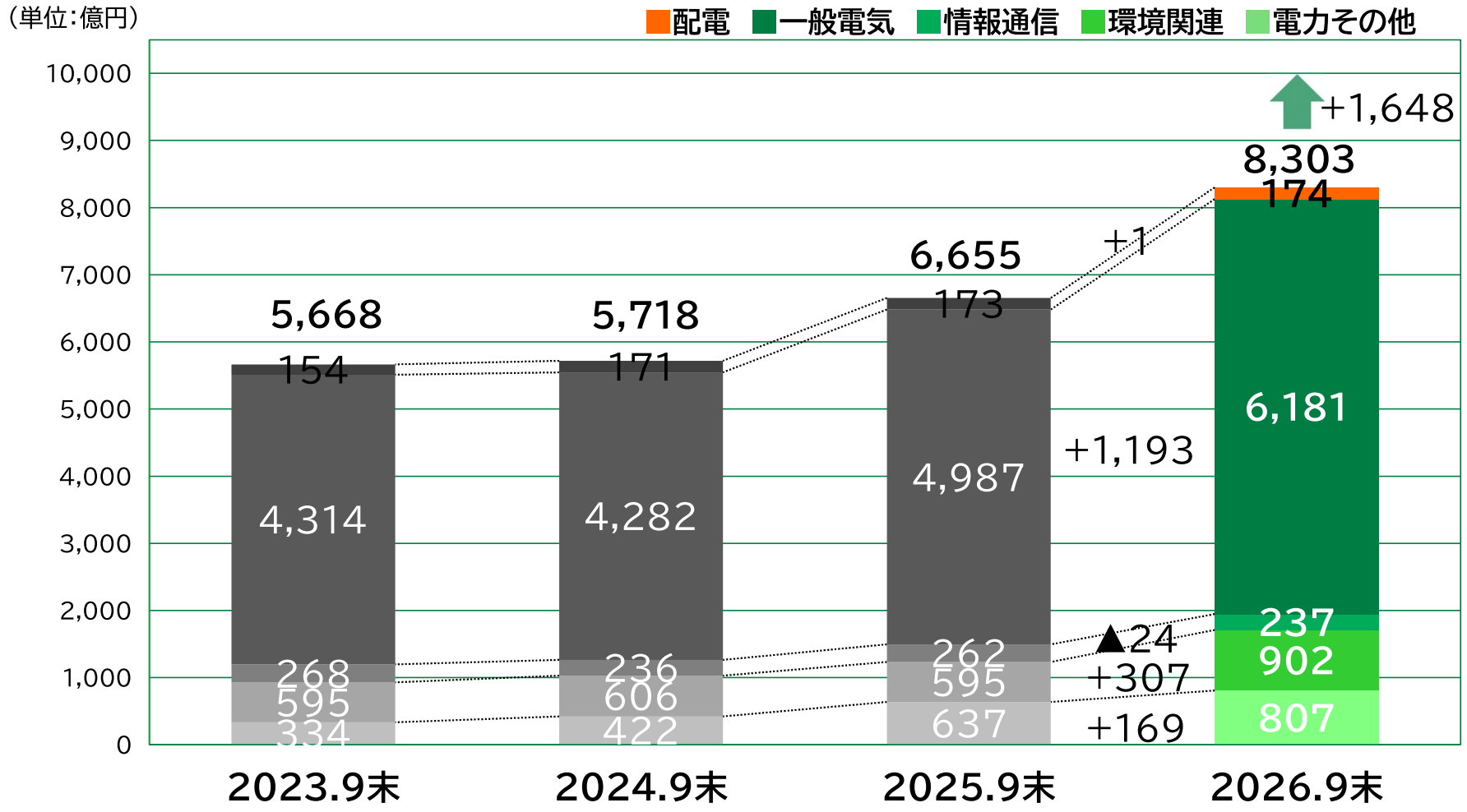
期首手持工事からの完成、当期受注からの完成とも増加

- ◆ 期首手持からの完成工事高は、176億円増加（1,919 → 2,096億円）
- ◆ 当期受注からの完成工事高は、18億円増加（369 → 387億円）



（6）工事種別手持工事高の状況【個別】

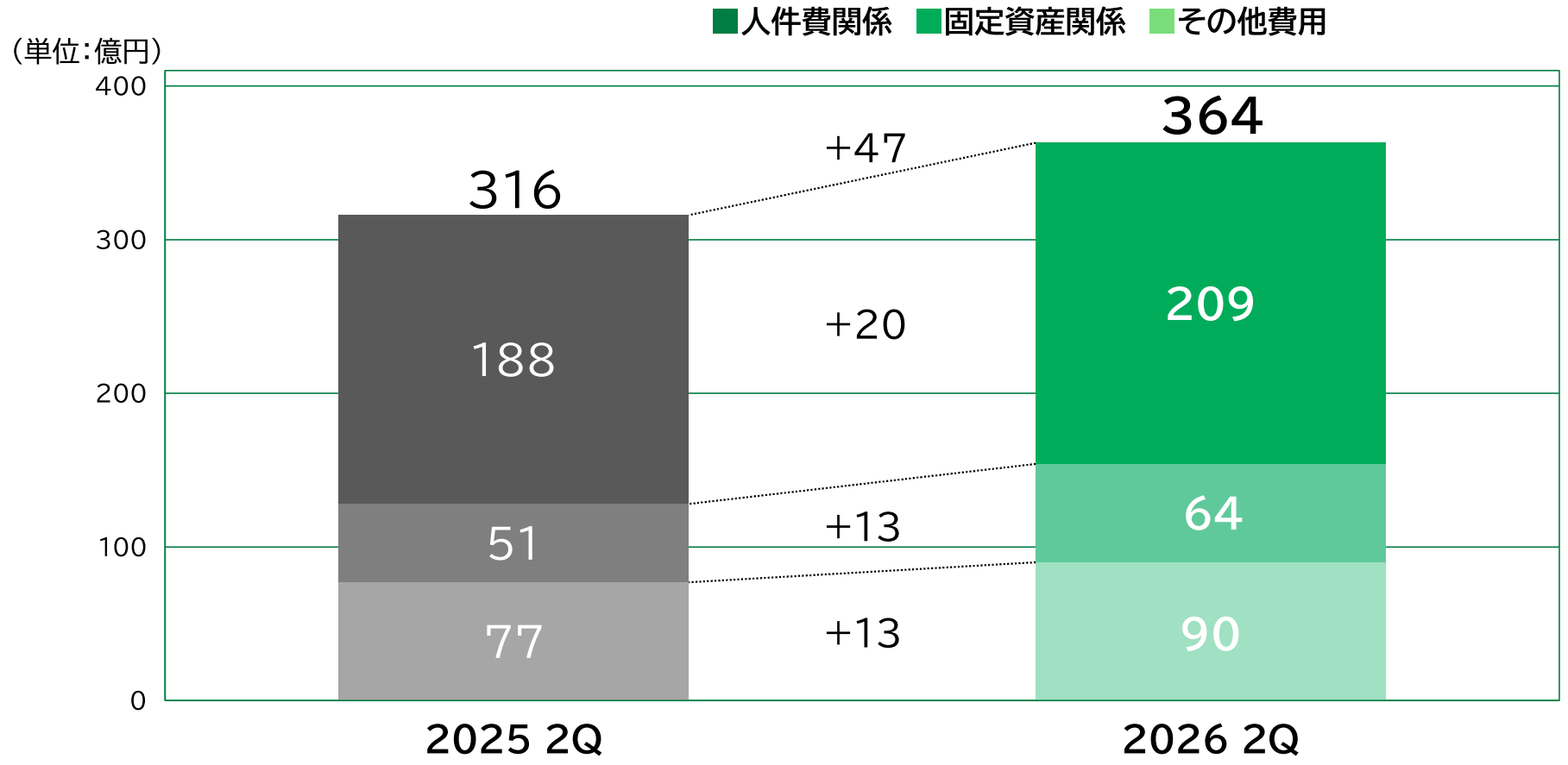
- ◆ 手持工事高は、前年同期末より1,648億円増加、特に一般電気工事、環境関連工事が増加
- ◆ 中間期として創業以来の最高値



（7）販売費及び一般管理費の状況【個別】

◆ **前年同期より47億円増加**

・人件費関係は、高水準の新卒採用等による従業員数の伸長、ベースアップ等により増加
・固定資産関係は、きんでん豊洲ビル関連費用（減価償却費等）等により増加
・その他費用は、ブランディングによるテレビCM関連費用等により増加



（8）予想との比較【連結】

◆ **完成工事高**
きんでん個別と同様に、国内子会社、海外子会社とも堅調に推移し、期首予想を上回った

◆ **各利益**
きんでん個別に加え、子会社も堅調に推移し、期首予想を上回った

（単位:百万円）

	2Q予想	2Q実績	差額	率
完成工事高	340,000	**358,195**	18,195	5.4%
営業利益	35,500	**41,970**	6,470	18.2%
営業利益率	10.4%	**11.7%**	1.3	–
経常利益	36,000	**42,606**	6,606	18.4%
親会社株主に帰属する中間純利益	27,000	**31,321**	4,321	16.0%
1株当たり中間純利益	150.97 円	**175.13 円**	24.16 円	

（9）前年同期比較【連結】

◆ **完成工事高、各利益共に増加**

・国内子会社、海外子会社とも、概ね堅調に推移

（単位:百万円）

	2025_2Q	2026_2Q	増減	増減率
完 成 工 事 高	321,378	**358,195**	36,816	11.5%
完成工事総利益	70,964	**86,231**	15,266	21.5%
完成工事総利益率	22.1%	**24.1%**	2.0	－
販売費及び一般管理費	39,173	**44,261**	5,087	13.0%
営 業 利 益	31,791	**41,970**	10,179	32.0%
営業利益率	9.9%	**11.7%**	1.8	－
経 常 利 益	33,976	**42,606**	8,629	25.4%
親会社株主に帰属する中間純利益	22,565	**31,321**	8,756	38.8%
1株当たり中間純利益	113.87 円	**175.13 円**	61.26 円	

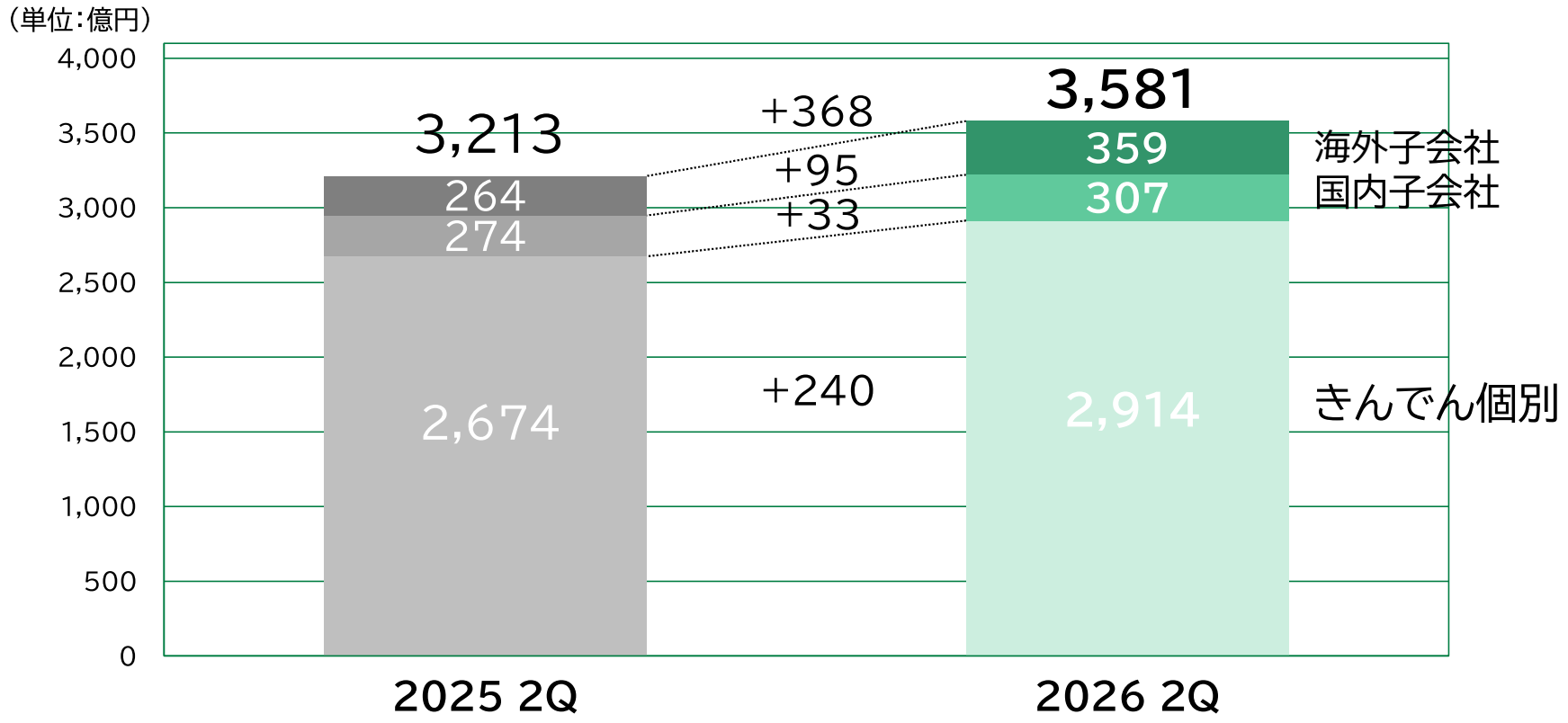
（10）完成工事高の増減【連結】

◆ **前年同期から368億円の増加**

・きんでん個別が、240億円増加

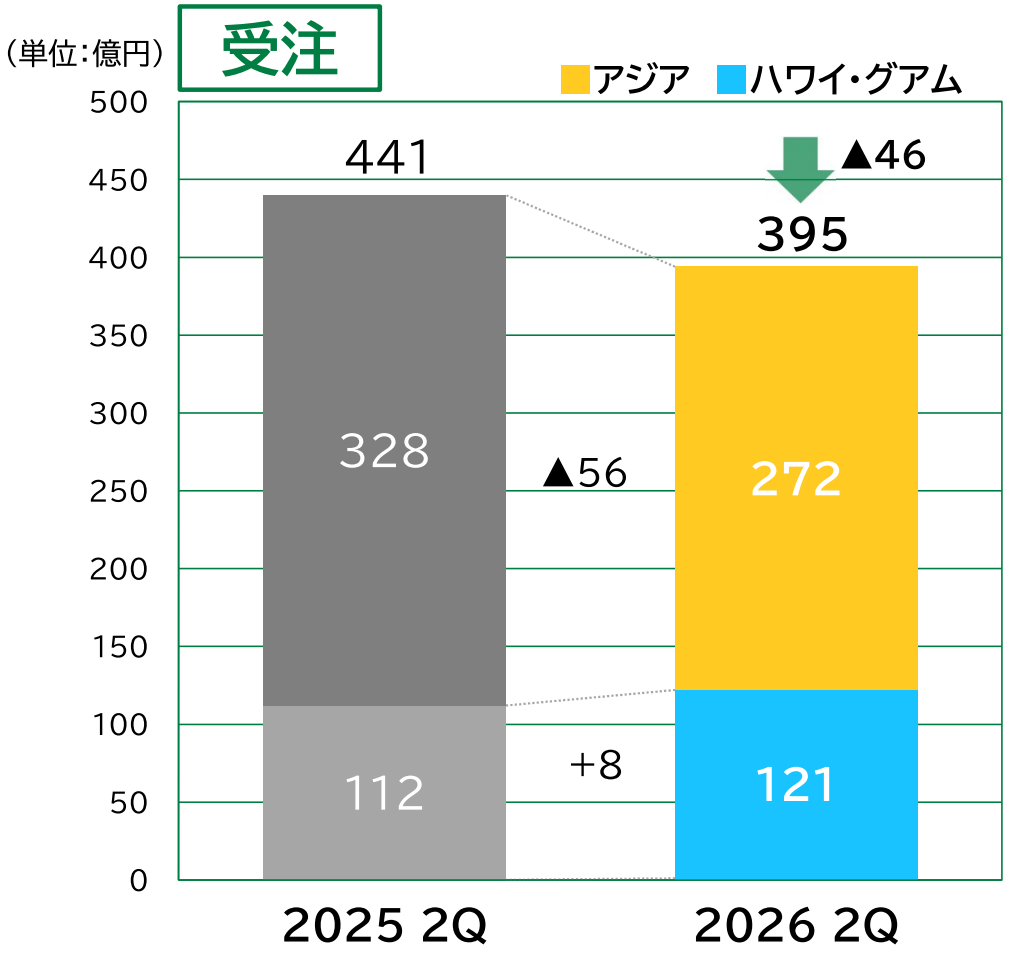
・国内子会社は、33億円増加（西原衛生工業所　他）

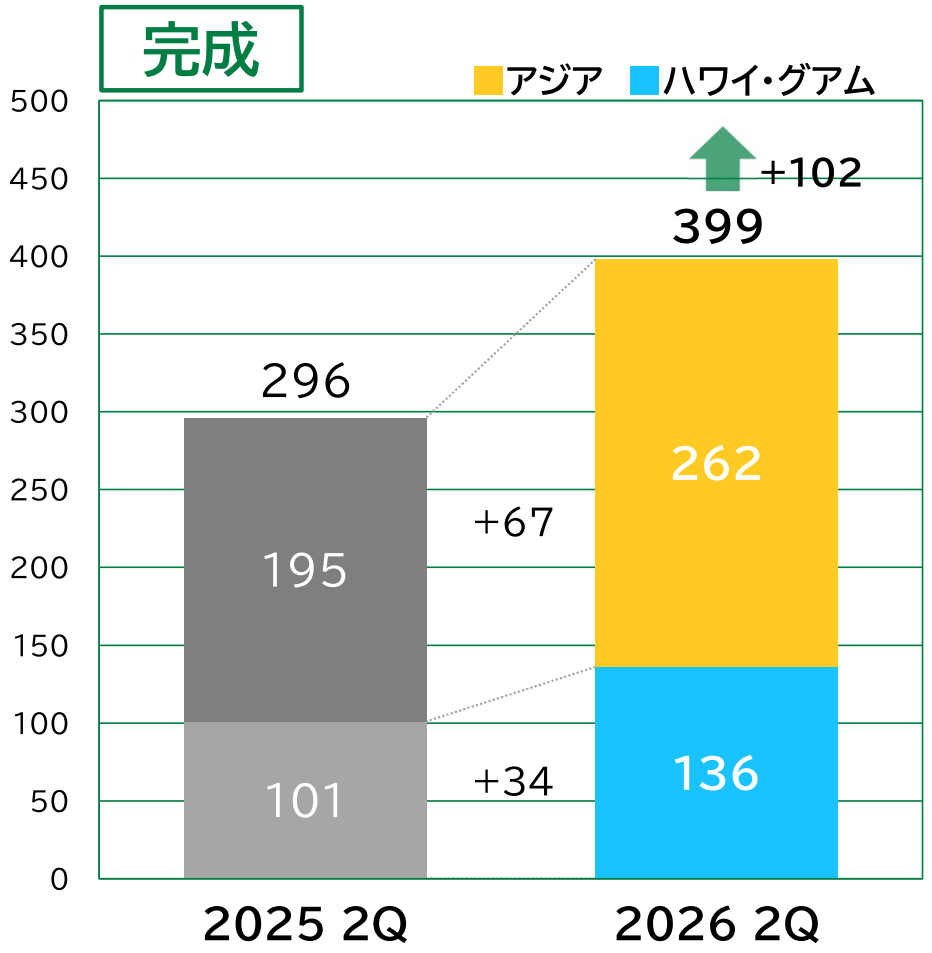
・海外子会社は、95億円増加（ハワイ子会社 、ドバイ子会社　他）



（11）海外（地域別） 受注・完成工事高の状況【きんでん＋海外子会社】

- **受注**
  前年に比べ、若干の減少（アジアが減少）
- **完成**
  アジア、ハワイ・グアムとも大きく増加（特にハワイ、ドバイ、ベトナム）



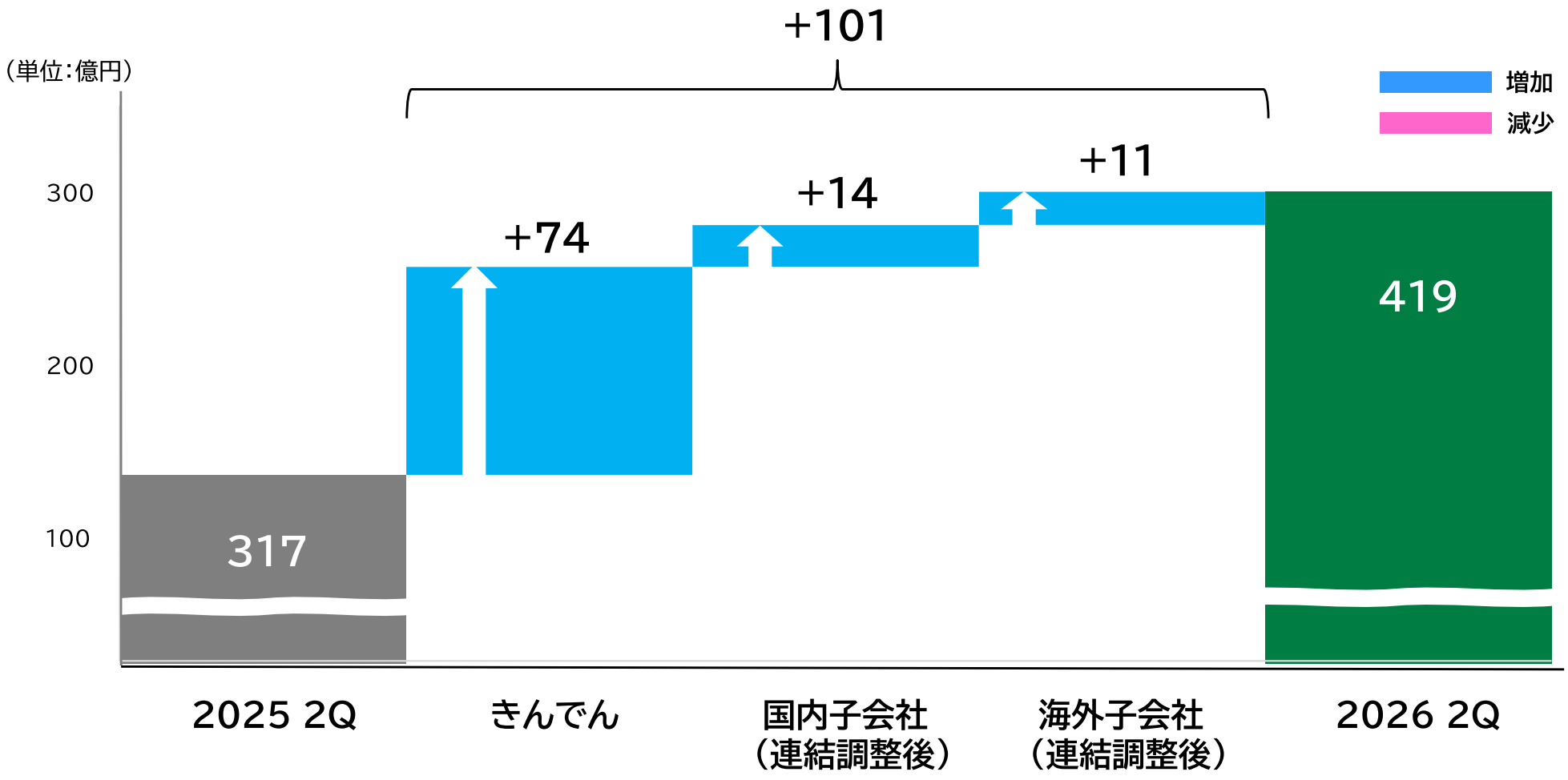


（12）営業利益の増減要因【連結】

◆ **対前年同期101億円の増加**

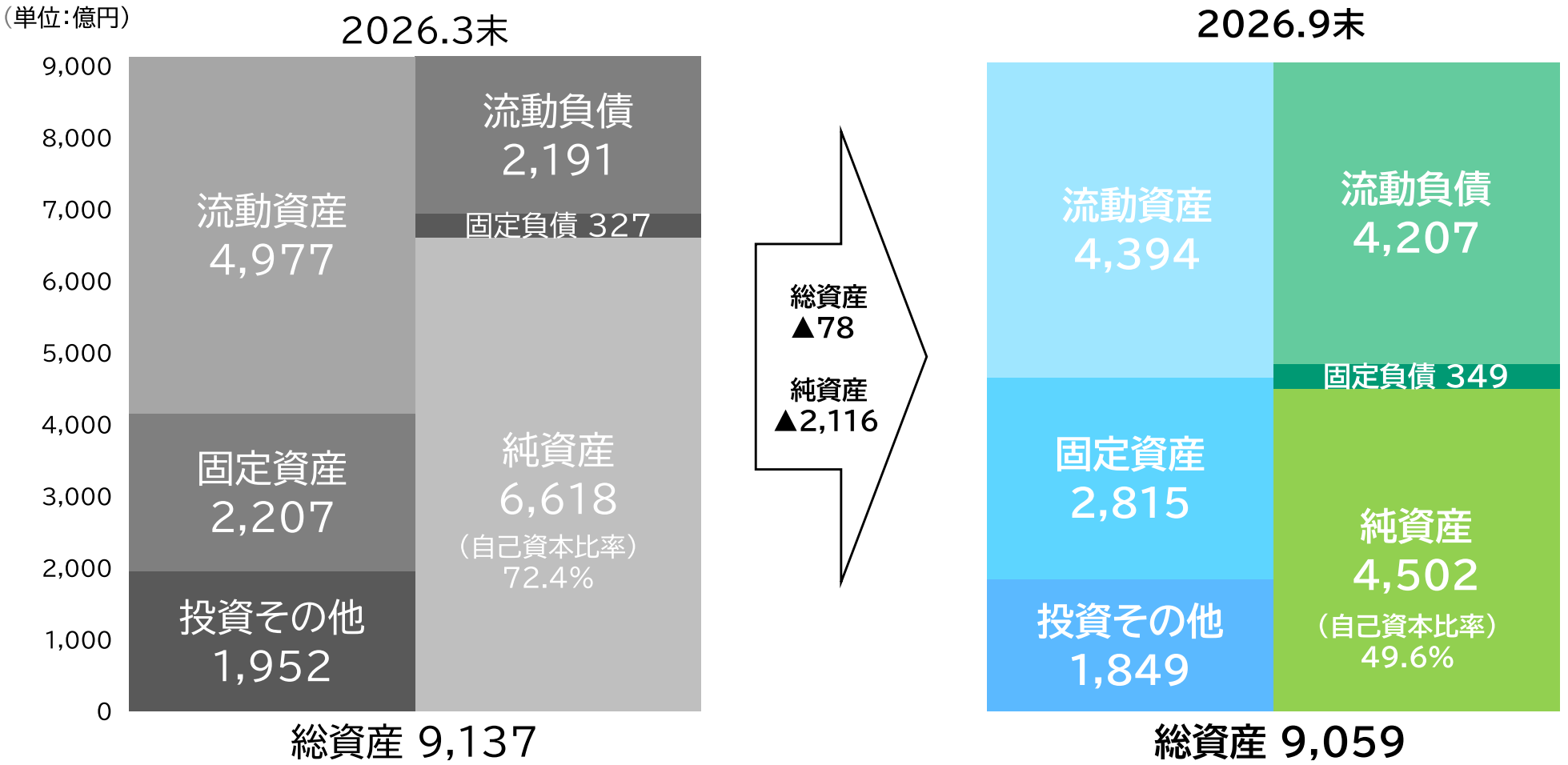
・きんでん個別は、完成工事高の増加や工事利益率の上昇により74億円の増加

・国内・海外子会社共に堅調に推移



（13）貸借対照表の状況【連結】

◆ 前期末と比較し、総資産は78億円減少、純資産は2,116億円減少し、自己資本比率は49.6%となった
特に、自己株式TOBが大きく影響している



（14）キャッシュ・フローの状況【連結】

- ◆ 営業活動は、利益の計上、完成工事未収入金等の減少等により492億円の資金が増加
- ◆ 投資活動は、弘電社のM＆A等により539億円の資金が減少
- ◆ 財務活動は、借入金の増加、自己株式の取得、配当金の支払等により232億円の資金が減少
- ◆ その結果、現金及び現金同等物は281億円減少し、残高は1,541億円となった

（単位:億円）

	2025_2Q	2026_2Q		
	実績	実績	主な内容	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	437	492	税引前利益の計上 +470 売上債権の減少 +536 仕入債務の減少 △203 法人税等の支払 △183	55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 460	△ 539	弘電社M＆A △656	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 158	△ 232	借入金の増加 +2,143 自己株式の取得 △2,236 配当金の支払 △138	△73
現金及び現金同等物の増減額	△ 194	△ 281		△86
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,652	1,541		△110

3. 業績予想

（1）通期予想【個別】

◆ 中間期の業績が期首発表数値を上回ったことや、生産性向上や原価低減の取り組み等により採算性が向上したこと、また、下期の受注も堅調な推移が見込まれることから、受注高、完成工事高及び各利益の予想を上方修正

（単位:百万円）

	通期予想(期首発表)	通期予想(今回修正)	増減額	増減率
受注工事高	680,000	**750,000**	70,000	10.3%
完成工事高	670,000	**680,000**	10,000	1.5%
営業利益	89,000	**92,000**	3,000	3.4%
営業利益率	13.3%	**13.5%**	0.2	－
経常利益	90,000	**93,000**	3,000	3.3%
当期純利益	67,000	**69,000**	2,000	3.0%
1株当たり当期純利益	389.04 円	**400.66 円**	11.62 円	

（2）通期予想【連結】

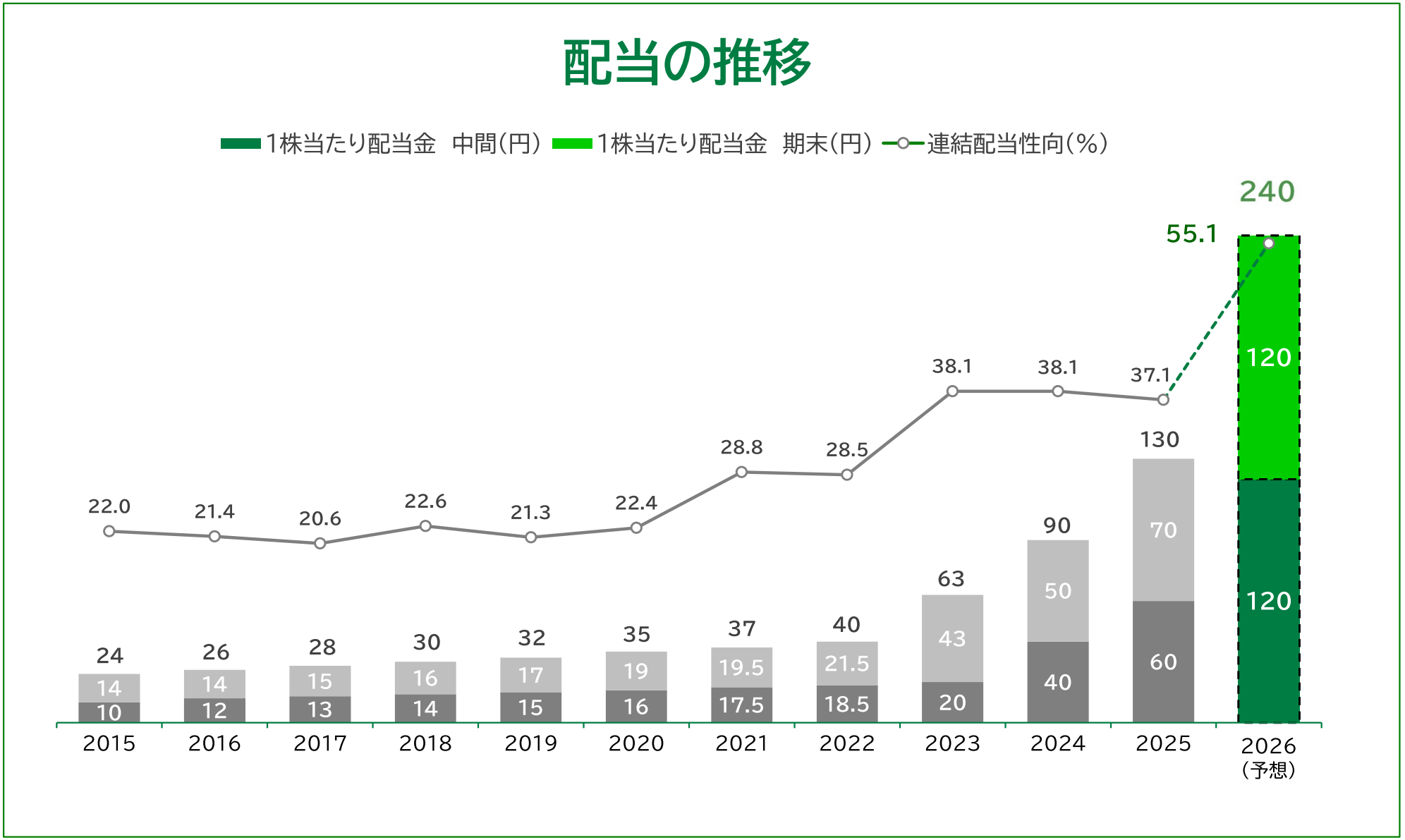
◆個別業績の見通しに加え、弘電社を新たに連結の範囲に含め、同社の2026年10月1日から2027年3月31日までの業績を反映すること、子会社も堅調に推移していること等により、受注高、完成工事高及び各利益の予想を上方修正

（単位:百万円）

	通期予想（期首発表）	通期予想（今回修正）	増減額	増減率
完成工事高	810,000	**850,000**	40,000	4.9%
営業利益	97,000	**105,000**	8,000	8.2%
営業利益率	12.0%	**12.4%**	0.4	－
経常利益	96,000	**105,000**	9,000	9.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	70,000	**75,000**	5,000	7.1%
1株当たり当期純利益	406.46 円	**435.50 円**	29.04 円	

4. 株主還元

（1）配当について

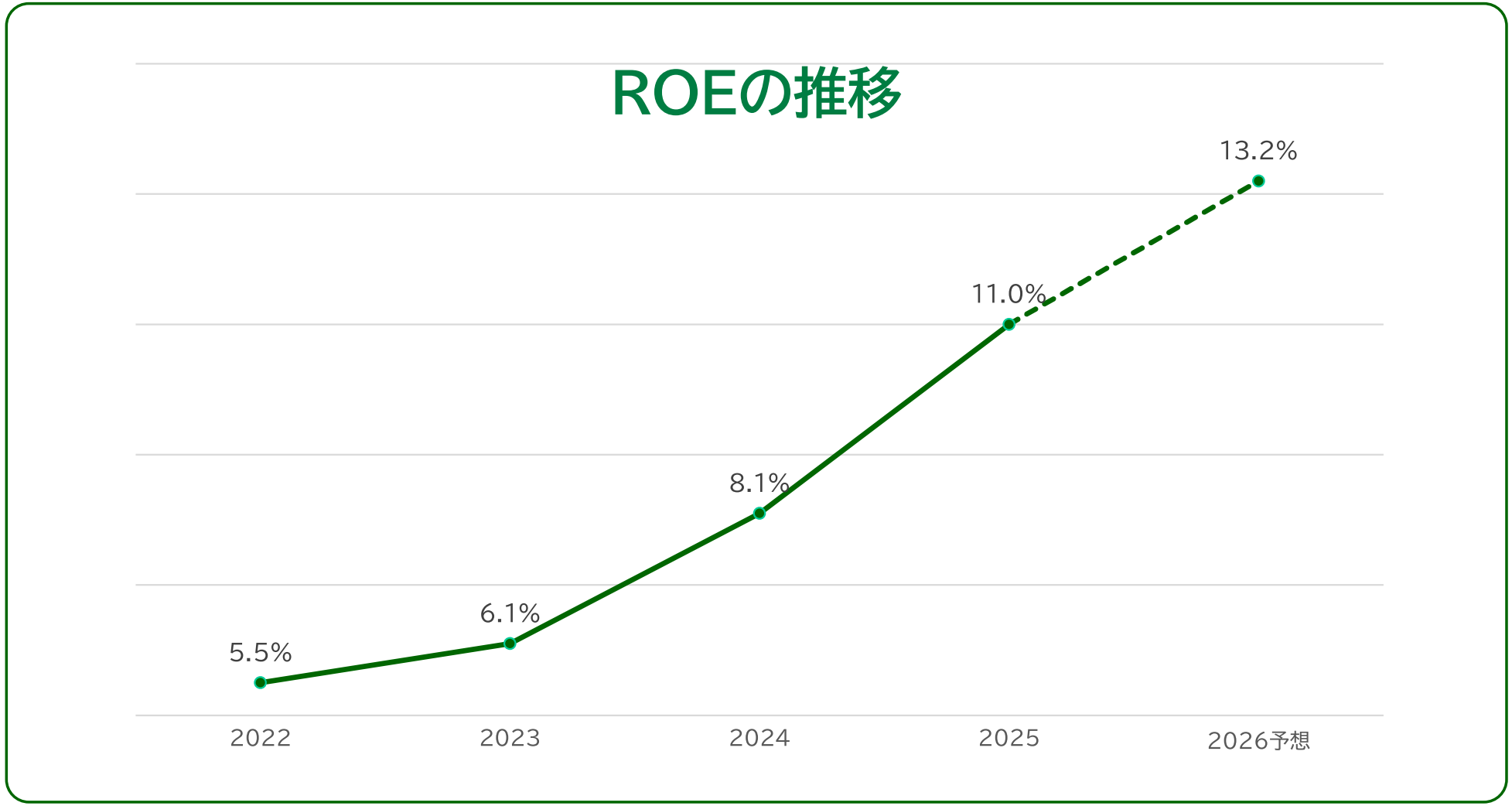

配当の推移
1株当たり配当金　中間(円)
1株当たり配当金　期末(円)
連結配当性向(%)
22.0
21.4
20.6
22.6
21.3
22.4
28.8
28.5
38.1
38.1
37.1
55.1
24
26
28
30
32
35
37
40
63
90
130
240
14
10
14
12
15
13
16
14
17
15
19
16
19.5
17.5
21.5
18.5
43
20
50
40
70
60
120
120
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024
2025
2026
（予想）

（2）自己株式の公開買付けによる取得及び消却について

（1） 期間	2026年4月28日～2026年6月1日
（2） 取得した自己株式の総数	33,500,000株（発行済株式総数の16.92%）
（3） 買付価格	2026年4月27日の前営業日（4月24日）までの過去3ヶ月間の終値の単純平均から11%のディスカウントを行った価格（6,677円）
（4） 取得価額の総額	223,679,500,000円 （6,677円×33,500,000株）
（5） 消却日	2026年6月30日（当該自己株式の全部を消却）

5. ROE

ROEについて



本資料の予想数値は、当資料の公表日までに入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

◆ IRに関するお問い合わせ
株式会社きんでん IR・広報部 IRチーム
〒531-8550　大阪市北区本庄東2丁目3番41号
電話：06－6375－6026